

☆キャンプファイヤー準備☆

活動場所

<つどいの広場>



<運動広場>



<キャンプ広場>



時間…16時30分から

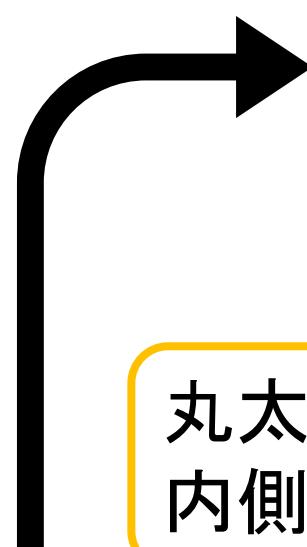
1.丸太・薪を取りに行く

- ①活動場所(つどいの広場・運動広場・キャンプファイヤー広場)に集合後、職員と一緒に丸太(6本)、薪の束(4束)を取りに行く。
- ②丸太を選ぶ時は、なるべく同じ太さのものを選ぶようとする。
- ③選ぶ丸太・薪は、一輪車を使って運ぶ。

→係の児童・生徒の人数が多い場合は、手で持って行っても良い。

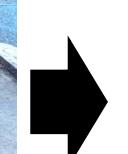
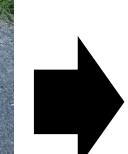
2.井桁を組む

- ①4束ある薪の束を1束残し、3束を中心に置く。

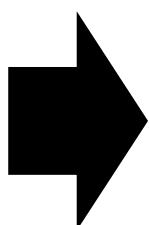


丸太が転がらないように
内側、外側に小石はさみます。

- ②中心に置いた薪の束を囲みながら、丸太を2本ずつ平行に組んでいく。



③丸太を固定させたら、薪の束と丸太の間に残っている薪の束(1束)を差し込む。

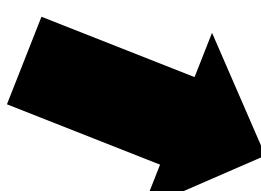


④井桁の中に平らな薪を4、5枚並べ、テーブルを作る。



⑤並べた平らな薪の上に、トップの部分の骨組みを作る。

※トップは職員が組みます。



☆完成！！☆

※つどいの広場で行う場合はタベのつどいがあるので、準備はスロープ横で行います。タベのつどい終了後、活動開始までにセンターサークルへ台車ごと移動してください。



3.トーチ係(火の守係)にトーチの持ち方を確認する

- ①トーチは両手でしっかりと持ち、体から離して持つ。
- ②火がついた状態で歩くときは、自分の方に火が流れてくるので、歩く速さに注意する。
- ③トーチの持ち方は先端が斜め上を向くように持つ。
(剣道の竹刀を持つイメージ)

※トーチの先端を真上に向けたり、下に向けたりしないようご指導お願いします。



4.点火の仕方を確認する

- ①トーチの頭を斜め上に向けたまま腰を下ろし、井桁のテーブル部分に立てかける。
- ②立てかけたトーチをそのままにしてその場から離れる(トーチごと燃やす)



5.トーチを灯油につける

事務室にお声かけください。

- ①キャンプファイヤーが始まる15分頃前にトーチの頭を灯油のバケツに付ける。
- ②布部分を下にして、立てかけておく。



6.片付けの確認

- ①活動終了後から22時までは、団体の指導者が火の管理をする。
→22時になつたら、事務室に声をかけてください。
- ②22時以降職員が火の管理をする。
- ③最終的な片付けは、朝のつどいの前まで終わらせておく。
- ④燃え尽きた灰は、一輪車とシャベルなどの道具を使ってキャンプ広場のファイヤーサークル中に入れる。
→一輪車やシャベルなどはキャンプ広場の煮沸窯横に戻す。

<片付け用道具>

- ・一輪車
- ・シャベル
- ・火ばさみ
- ・ちりとり
- ・ほうき

